

太郎太郎踊り



鹿児島県薩摩川内市高江地区は約5km川内川を下った左岸側に広がる田園地帯にあり、昔から美味しいお米作りに励んでいる地域である。

太郎太郎踊りは南方神社春祭りで奉納され、代々、口伝で傳承されている寸劇である。

五穀豊穰、安産、無病息災を願って、神官・祖父（オンジョ）・父（テチヨ）・長男（太郎）・牛、そして峰山小学校児童で軽妙な動きと鹿児島弁で演じられる。

境内が田んぼとなり、オンジョの「太郎太郎 牛を引いてけ～」の掛け声と木の鍬を持った児童たちが田打ちをする場面から、出産、テチヨの祝いの歌、種まきの神事まで、素朴な田園劇が繰り広げられる。

田をならす「田打ち」の農耕劇は古く、昭和37年10月24日に県の無形文化財に指定されている。

【奉納・披露】

日程：毎年3月第1日曜日 午前10時～

場所：南方神社（高江町）